

## 講習概要（シラバス）

講義名： 地域社会とアートプロジェクト	講師： 真鍋 淳朗
金沢市内のオルタナティブスペース（空き店舗、工場跡等がアートを発信する場所として転用されたスペース）や奥能登珠洲市で行われたアートプロジェクトの実例を見ながら、地域社会とアートの関わりについて考えます。	

講義名： 木彫 ー素材と表現ー	講師： 石田 陽介
学校の授業ではなかなか取り上げにくい木彫を行い、素材の特性やカービングによる表現を体験的に理解します。様々な樹種に触れることで素材と地域の結びつきのヒントにもなると思われれます。 ※30cm立方程度の丸彫りを行います。事前にどのようなものを作るかを決めておいてください。具象、抽象は問いません。モチーフを持参するか多方向からのスケッチをご準備ください。	
●計画	
①木を選ぶー様々な木に触れ、彫り味や素材感、テクスチャーの違いを知る	
②道具に触れるー普段あまり使うことのない鑿打の練習を行う	
③大きな形を作るーノコギリやチェーンソーで粗取りをする	
④鑿を用いた制作 ⑤彫刻刀を用いた制作 ⑥仕上げ等について → 講評	

講義名： 九谷焼上絵付実習 ー観察・図案化・絵付ー	講師： 山本 健史
●計画	
①自然物を観察しスケッチする	
②それをもとに器にあわせて図案化する	
③図案の配置や色彩を確認する	
④皿に描画し、その上にガラス質の絵の具をのせて焼成する	
●目標	
描きたいモチーフの選択と、そのものが持つ魅力を再発見する。また、絵付けされた皿が魅力ある表現として完結するように意識する。伝統的な技法を経験することで計画性や緻密な作業の重要性を再確認する。	

講義名： グループ討議 ー教育への示唆ー	講師： 荷方 邦夫
本講座では、更新講習の締めくくりとして、小グループによるグループ討議を行う。講習で取り扱った美術・造形の最新事情や方法論を教育実践へ発展させることの可能性や、その手法について幅広く議論を行うことを目的としている。	
1. 受講者自身の美術・造形教育との関わり	
2. 「新しい流れ」を多くの人に伝えるために	
3. 美術教育の今後の課題、課題に応えるためにいまなすべきこと	